



K.C.News

京都知福協だより

京都知的障害者福祉施設協議会

〒601-8047 京都府京都市南区東九条下殿田町24 (福) 京都ライフサポート協会「若杉」内

<http://kyotifuku.jp>

発行人／樋口 幸雄

- ◆ 新型コロナウイルスへの対応と今年度の協会活動について … 1
- ◆ 新型コロナに負けるな！
～加盟事業所・協議会の取り組み～ … 2・3
- ◆ 新型コロナウイルス感染拡大に対する
京都知的障害者福祉施設協議会の動き … 3
- ◆ 京都府企画WEBイベント「オンライン運動会」のお知らせ … 4
- ◆ ちょっと お・し・え・て … 5
- ◆ Spotlight … 6
- ◆ 2019年度収支決算報告 … 7
- ◆ 令和2・3年度京都知的障害者福祉施設協議会役員体制 … 8
- ◆ 令和2年度広報部会部員紹介 … 8
- ◆ 新規加入事業所紹介 … 8

社会福祉法人大照学園 上・中段：制作活動
下段：(左)園芸/(中)手芸/(右)季節の壁画



新型コロナウイルス感染症への対応と今年度の協会活動について

京都知的障害者福祉施設協議会 会長 樋口 幸雄



会員施設・事業所の職員の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、医療介護従事者と同様、感染リスクに直面しながら、利用者の生命と暮らしを守るという使命を果たすために感染防止対策を講じながら、日々の業務の遂行に奮闘されておられますこと、心から感謝を申し上げます。

冬季に入り、コロナ禍はいわゆる第3波という感染拡大が続いており、その収束に目処が立たない深刻な状況を迎えています。京都におきましても障害関係施設・事業所の利用者・関係者のコロナ陽性者の発生が増加傾向にあります。幸い現在まで、クラスター化の報告はありませんが、予断を許さない状況であることは間違いありません。引き続き、厳重な感染防止に努められ、継続的に障害福祉サービスが提供できるようお願いいたします。

当協議会としては、PCR検査の速やかな実施、コロナ発生時に施設での治療でなく入院を原則とすること、ワクチンの優先接種等、引き続き京都府・京都市への要望活動を続けてまいります。現状としては、府・市ともに特別予算が組まれ、感染防止のための費用については、ほぼ全額補助していただけることになりました。また、京都府では、感染防止対策の方法や発生時の対応についての動画を制作し、各分野の障害福祉サービス事業所がオンラインによる研修に参加できるよう近く配信される予定です。

今後の協会活動について

今年度の協会活動については、全国・各地区・各地方会の活動ならびに各種別部会の研修会はほぼ中止となりました。また、会議等については対面での実施を控え、基本的にオンラインで開催されています。なによりも、本年10月下旬に予定しておりました第58回全国職員研究大会が次年度に延期となり、関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。あらためてお詫び申し上げます。先日、本協議会役員会を開催し、当該研究大会の次年度開催については再延期をせず、オンラインによる開催を基本とし

て、確実に実施する方向で調整することになりました。引き続き、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和2年度の重点活動計画「一人一人が大切にされる地域共生社会の実現を目指して」

(日本知的障害者福祉協会)

重点事項1
・ 利用者の意思決定支援の推進と権利擁護
・ 利用者自身の意思決定の大切さと、障害者虐待の防止および各事業所における権利擁護の仕組みの検討

重点事項2
・ 障害のある人の望む暮らしの実現
・ グループホーム等の地域支援基盤の充実と、障害者支援施設の機能の見直し。

重点事項3
・ 強度行動障害のある人の支援
・ 支援者による虐待の多くが、強度行動障害の支援現場で発生していることを鑑み、行動障害者への支援のあり方(令和2・3年度特別委員会「著しい行動障害への対応に関する検討委員会」)の設置

重点事項4
・ 人材の確保、育成
・ 専門性の高い人材の育成

重点事項5
・ 新型コロナウイルスへの対応
・ 感染防止対策への取り組みの強化

次期報酬改定について

現在、日本知的障害者福祉協会の政策委員会を中心に各種別部会からの意見集約が終わり、厚生労働省との最終調整の段階に入っています。今般の改正では、コロナ禍の影響で医療介護分野が軒並み減収となる中、障害分野における、収支差の大きな事業については、切り下げられる可能性が高いといえます。今後とも、事業継続という使命を果たすためにも今回の報酬改定が各事業の基本報酬の増額や、月額報酬への切り替えという報酬体系の抜本的な見直しに繋がる働きかけを行っていききたいと思っております。

ガウン テクニック 講習会



あまだ翠光園

コロナ感染に備え、全職員で防護服等の着脱研修を行いました。



るりけい寮



はなのき通所

新型コロナに 負けるな!

～加盟事業所・
協議会の取り組み～



飛沫防止 対策



あまだ翠光園

光の家 アクティブセンター

飛沫感染予防のための仕切り。専用品ではなく、プラスチックダンボール＋ブックエンドで卓上型仕切り、水道パイプとビニールシートで据え置き型の仕切りを手作りしています。



補助金にて
陰圧機を
購入・設置

隔離 スペース

感染者の
隔離スペースを確保
大照学園



非感染区域

非感染区域
②扉



感染区域入り口



物品セット

『昼食』でのコロナ対応 宇治川福祉の園

宇治川福祉の園では、従来は、利用者・職員共、全員同時に昼食を摂っていました。密を避けるため二部制にしようと調整しましたが問題山積。食堂は一か所で、時間をずらすしか仕方ありません。就業時間常も食後の休憩時間もずれ、集団が小さくなった分、利用者の支援に当たる職員を確保することも難しくなります。結果的に、従来12時スタートの食事が11時45分組と12時15分組に分かれました。従来6人掛けの対面テーブルが、今では片面3人となり、結果的に対面が避けられ、飛沫防止対策となっています。

食事





活動



『音楽活動』でのコロナ対応

宇治川福祉の園

宇治川福祉の園では、利用者40名を4つの小グループに分け、音楽療法セラピストを招いて音楽活動を行っています。一人一人が音楽を通して自分の想いを表現できるようになる事を目的とした園のみんながとても楽しみにしている時間です。さて毎年重ねてきた活動も、新型コロナウイルスへの対応のため今期のスタートに当たり、大きな見直しをしなければならない事態となりました。従来は当園と隣接する槇島地域福祉センターの地域交流室という広いホールをお借りしていましたが、コロナ感染拡大を受け施設の利用規定が更新され『施設利用者全員のマスク着用』が義務付けられました。宇治川福祉の園では、マスク着用が出来ない利用者が何人かおられます。そこで園の収納スペースであった場所を整備しなおし、音楽活動の当日のみ、ここを音楽ホールに変身させました。低い舞台を設置し、発表者の飛沫を透明シートで遮断し、マスクの代わりにフェイスシールドができる方にはそれを装着していただきました。換気を行い、空気清浄機もたくさん持ち込んで何とか実施にこぎつけました。レクリエーション的な活動が次々ととりやめや見直しを迫られるなかで、音楽活動タイムでは、利用者みんなの変わらない笑顔が見られています。今後はこのスタイルが定番になると思われます。

新型コロナウイルス感染拡大に対する京都知的障害者福祉施設協議会の動き

京都知的障害者福祉施設協議会は、利用者の皆様、職員の皆様の安全を守るために、日本知的障害者福祉協会や京都府下の各種団体とも連携しながら、会員施設への情報発信や京都府・京都市への要望書の提出などを行っています。

○日本知的障害者福祉協会

協会だよりやホームページなどで新型コロナウイルス感染関連の通知・事務連絡等の情報を集約しています。

◆新型コロナウイルス感染症に関する情報

<http://www.aigo.or.jp/2020info1.html>



○京都知的障害者福祉施設協議会

京都社会就労センター協議会、京都精神保健福祉施設協議会、きょうされん京都支部と連名で京都市に向けて「新型コロナウイルス感染症対策に向けての緊急要望書」を提出（4/16）

<要望の内容>

1. 感染防止に関して
2. 検査と治療体制に関して
3. 福祉事業所支援に関して

要望書の詳細は京都知的障害者福祉施設協議会のホームページ(会員ページ)で確認いただけます

京都市長 門川大 作

令和2年4月16日

京都府知事 吉田 博之
京都府内閣府 府民生活部
会長 山口 幸雄
京都社会就労センター協議会
会長 小堀 治
京都精神保健福祉施設協議会
会長 坂本 博史
きょうされん京都支部
支隊長 栗津 浩一

新型コロナウイルス感染症対策に向けての緊急要望書

平素より障害者福祉の推進にご尽力されておりますことに心より敬意を表します。
また、新型コロナウイルス感染症の拡大の中、昼夜を分かたず奮闘をいただいていることに心より感謝申し上げます。
しかし、我が国を世間世界的規模での拡大はまだ終息の見えない状況が続いており多くの市民の不安と悲しみを広げております。同月4月8日に史上初めての「緊急事態宣言」を発出し生命と健康を守り、平常の市民生活を守る行動を呼びかけ必要な施策をはじめました。
京都市におかれましても終息の見えない状況の中「宣言」に伴う緊急事態宣言の指定を国に要望されこれ以上の拡大防止に最大限のご努力をされていると承知しております。
一方、障害者福祉サービス事業所では今まで経験したことのない様々な対応に翻弄されながらも障害児者、家族を支える活動を懸命に取り組みでいるところです。
このような状況下で私ども障害者福祉関係4団体は共通して直面している課題につき早急の解決を願うべく下記の要望書にまとめました。
利用者の命と健康、それを守る私ども事業所を守るため可及的早急に手立てを打っていただきますようお願い申し上げます。

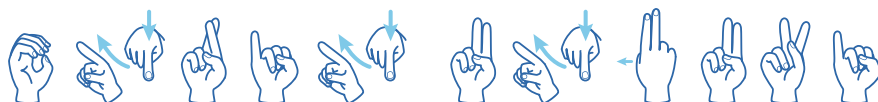
記

1. 感染防止に関して

- ① 障害児者、家族への感染予防策について情報提供をおこなうこと、また障害のある人にもわかりやすい情報提供をいただきたい。

京都府
より
お知らせ

障害者スポーツレクリエーション オンライン運動会



種目(予定)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1.風船リフティング | 5.玉入れ |
| 2.お手玉ボッチャ | 6.100本ボウリング |
| 3.紙皿フライングディスク | 7.創作ダンス
(課題曲あり) |
| 4.紙コップタワー | |

風船リフティング



玉入れ



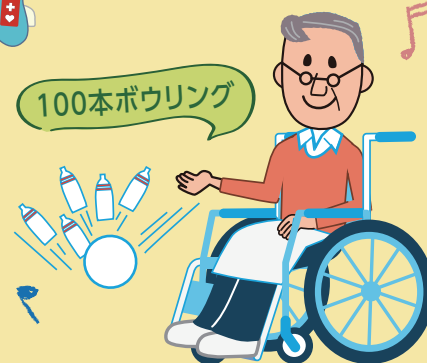
紙コップタワー



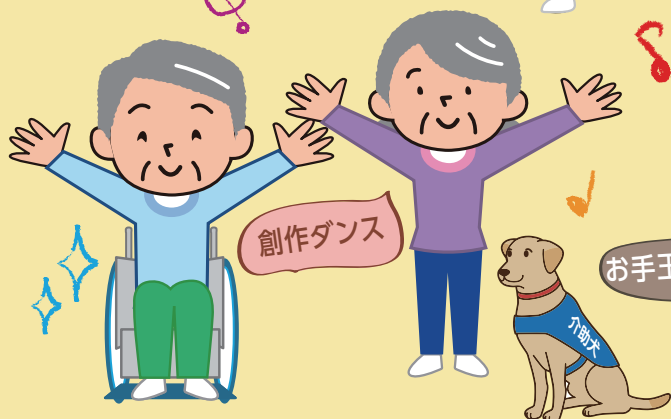
紙皿フライングディスク



100本ボウリング



創作ダンス



お手玉ボッチャ



＼動画を撮影・投稿し、みんなで盛り上がりましょう!!／

お試しチャレンジ

動画登録開始: **12月頃予定**

本番チャレンジ

動画登録開始: **1月頃予定**

主催:  京都府

最新情報はこちら! <https://kyoto-undokai2020.com>



障害者スポーツレクリエーションオンライン運動会 事業概要

令和2年11月24日 障害者支援課

- 1 **事業の趣旨・目的**
新型コロナウイルス感染症の影響により、障害者のスポーツの大会やイベントが中止や規模縮小等を余儀なくされている状況が続いている中で、Web環境を活用し、障害のある方の体を動かす機会やスポーツを通じた交流の場づくりとともに、障害者スポーツの振興を図るため、オンライン運動会を実施する。
- 2 **事業内容**
府内の障害者施設等への参加呼びかけとともに、障害のある方がチーム(3人程度)をつくって指定種目に挑戦している動画を投稿・閲覧できる専用のWebサイトを立ち上げ。投稿された動画は実施時期や場所も異なるが、リアル運動会と同様にWeb上では同時に種目にチャレンジしているような一体感を醸成するとともに、閲覧者にも楽しんでもらえるようなイベント性を持たせたものとする。
- 3 **種目について(7種目) (予定) ※1種目1全種目参加可能**
 - ① 風船リフティング
 - ② お手玉ボッチャ
 - ③ 紙皿フライングディスク
 - ④ 紙コップタワー
 - ⑤ 玉入れ
 - ⑥ 100本ボウリング
 - ⑦ 創作ダンス(課題曲有り)
- 4 **競技場所**
運動が可能なスペース(施設等)
- 5 **投稿閲覧場所**
公式ホームページ(12月公開予定)
- 6 **参加資格**
京都府内に在住、在勤、在学、または施設に属し、障害者手帳(身体・療育・精神)を持つ者
ただし、グループ内に参加資格を有する者が1名以上含まれる場合は、可
- 7 **参加費** 無料
- 8 **参加申込**
公式ホームページより。入力可能時期はHP上でお知らせします。
- 9 **その他**
詳細は公式ホームページを参照してください



外出支援の整理



広報部会で『ちょっとおしえて』の題材を考えていた際、「同行援護と行動援護の違いを分かっていない職員がいる」「移動支援は…」などと話題になりました。「自分もはっきりと違いが分からないかも…」と気まずい思いになり、勉強し直すつもりで原稿を書くことになりました。

障害者総合支援法による障害者を対象としたサービスは、自立支援給付と地域生活支援事業の2つで構成されています。

自立支援給付は、介護給付や訓練等給付を中心として市町村が行うものです。その介護給付のサービスの中に同行援護と行動援護が含まれています。

地域生活支援事業は、障害者が住み慣れた地域で日常生活や社会生活がおくれるように都道府県や市町村が中心に行う事業です。その市町村が行う支援事業の中に移動支援事業が含まれています。

自立支援給付	同行援護 ：視覚障害によって移動が著しく困難な人に移動に必要な情報を提供(代筆、代読を含む)、移動時や外出先での移動の援護を行います。また、宿泊を伴う外出でも利用できます。
	行動援護 ：知的障害または精神障害があり、行動が著しく困難で介護を必要とする人が、行動する時に危険を回避するため必要な援護を行います。
地域生活支援事業	移動支援 ：一人で移動が困難な障害者が、地域における自立生活および社会参加が円滑にできるように移動を支援します。また、家族と離れてリフレッシュする時間をもてるというレスパイト的な効果もあります。自治体によってできる・できないが分かれる支援内容もあります。介護保険法や総合支援法での外出介護サービスが利用できる人は、そちらの利用が優先となります。

◎各外出支援の従事者の必要な資格要件

同行援護：同行援護従事者養成研修一般課程修了者のほか、介護福祉士等のうち、視覚障害を有する身体障害者等の福祉に関する事業(直接処遇)に1年以上従事した経験を有する者など。

行動援護：行動援護従事者養成研修または強度行動障害支援者養成研修(実践研修)を終了し1年かつ180日以上従事した経験を有する者など。

移動支援：移動支援従事者(ガイドヘルパー)、介護福祉士など。自治体によって資格要件は異なる。

◎各外出支援の対象

同行援護：視覚障害によって移動に著しい困難を有する人で、同行援護アセスメント調査票において移動障害欄の点数が1点以上であり、移動障害以外の欄(視力障害、視野障害、夜盲)の点数のいずれかが1点以上。

身体障害を伴う場合は、次のいずれにも該当する人。障害支援区分が2以上かつ障害支援区分の認定調査項目のうち、『歩行』『できない』『移乗』『移動』『排尿』『排便』のいずれかが、『見守りなど』『一部介助』『全介助』に該当する場合。

行動援護：知的障害・精神障害のある人で、障害支援区分が3以上。さらに認定調査項目のうち、行動関連項目の合計点数が10点以上の人。

移動支援：障害者などであって、市町村が外出時に移動の支援が必要と認めた人。

とりえず、以上のようにまとめました。省略した部分もありますので、皆さんもサービスを提供されている都道府県、市町村等の資料で見直してみてください。

参考資料) これ一冊でわかる! 障害者総合支援法のすべて ナツメ社
LITALICO 発達ナビ | 発達障害者ポータルサイト (h-navi.jp)
ケア資格ナビ (careshikaku.com)、ヘルパー会議室 (helper-kaigi.net)

(るりけい寮 今西 重人)

Spotlight

加盟事業所での工夫を凝らした活動（支援）、ご利用者の特色ある活動、力を発揮して仕事に打ち込んだり、地域での暮らしを実現されていたり…。そのような皆さんにスポットライトを当てるコーナーです。
（このコーナーでは会員の皆様からの記事掲載希望を随時受け付けております）

宇治川福祉の園



利用者絵画個展

田上 恵理（たがみ えり）さん

田上恵理個展『赤と黒』

余暇活動や休憩時間に制作される利用者の方の無垢な作品にふっと魅力を感じさせられます。そんな作品を個展という形で紹介しようと、令和2年9月に取り組みを始めました。

毎回色紙大の絵を額装し、3作品を2階廊下の掲示板に展示し、現在までに5人の方の個展を開催しています。今年で5年目となりますが『京都とおきの芸術祭』に出展しています。その中の作家群から個展作家を選んでいきます。

そんな中で、注視され始めている宇治川の新しいアーティストを紹介します。数年前、美術に関心のある支援員が自班のこの方の作品を発掘し、別の班の同じく美術関連企業から転職の職員にこんな作品があると感動的に紹介したことがきっかけでした。その作品群を葉書にプリントして販売し、昨年度は『京都とおきの芸術祭』に一冊のスケッチブック形式で出展、そして今回の個展の開催につながりました。

この方の描画スタイルは、ボールペン・フェルトペン・エンビツなどで、細い線をびっしり等間隔に引き、平面を埋めていくという、独特の雰囲気を持った画面構成です。それまで単に、作業完了後の楽しみとして描いていた絵で、さほど注目されなかった石ころが、やっと宝石の原石として発掘されたようなこれは一つの事件です。ご本人にとって思いもよらない発表の場を設けられ、嬉しさと自信を持って自作品を認識できた出来事でもあったようです。



令和元年度『京都とおきの芸術祭』出品作



① 制作風景



② 制作風景



③ 作品完成



田上恵理さんの日常作業
左／園芸、右／ネジの計数

あしたーる工房



ワークス班（農耕所屬）

岡本 良雄（おかもと よしお）さん

「いつか自分で畑を借りて農業がしたいねん。」
素敵な夢を笑顔で話してくれる岡本さんをご紹介します。

岡本さんは、当施設のワークス班（就労・生産活動班）にて日吉町上胡麻にある畑で日々農作業に取り組まれています。



少し涼しくなってきた10月。
汗をブルブルかきながら「今日もええ天気やなぁ」と畑の草刈りに取り組まれています。



最初は、農機具も使った事がなく、フラフラとどこかぎこちない様子でした。



今では機械操作も慣れて、たくましい後ろ姿で草刈り機を使えるようになりました。



野菜の種まきもちゃんと目印に沿って、均等な株間でまく事が出来ています。
「今日は〇〇の畑に△△の種まいたで。鹿が入らんように電柵をはよせんとなぁ」とその後の流れもバッチリです。

2019年度

(2020年3月31日現在)

収支決算書

京都知的障害者福祉施設協議会

収入合計	20,960,427
支出合計	13,798,513
差引残額	7,161,914

(残額は次年度へ繰越)

事業振興基金	1,094,609
--------	-----------

◆収入の部

(単位：円)

大区分	中 区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要 (積算内訳)
会費収入		9,150,000	9,168,050	18,050	
	1. 日本知福協会会費収入	3,300,000	3,264,000	△ 36,000	
	2. 近畿知福協会会費収入	200,000	208,000	8,000	
	3. 京都知福協会会費収入	5,650,000	5,696,050	46,050	
補助金収入		200,000	169,078	△ 30,922	
	1. 京都府補助金収入	90,000	90,000	0	クラシックコンサート補助金
	2. 京都市補助金収入			0	
	3. 日本知福協補助金収入	110,000	79,078	△ 30,922	地方会助成
寄付金収入		0	0	0	
	1. 寄付金収入	0	0	0	
委託金収入		2,100,000	2,100,000	0	
	1. 委託金収入	2,100,000	2,100,000	0	京都知的障害児者生活サポート協会・近畿知福10万円
協賛金・助成金収入		2,100,000	2,100,000	0	
	1. 協賛金・助成金収入	2,100,000	2,100,000	0	京都新聞・生活サポート協会 クラシックコンサート協賛金
雑収入		110	224,096	223,986	
	1. 雑 収 入	100	224,086	223,986	預金利息 86円 福祉会館事務所移転費用助成 224,000円
	2. 研修参加費収入	0		0	
	3. 事業振興基金利息収入	10	10	0	預金利息
積立金取崩収入		0	0	0	
	1. 事業活動積立金取崩収入		0		
繰越金		7,199,203	7,199,203	0	
	1. 繰 越 金	7,199,203	7,199,203	0	
収入合計		20,749,313	20,960,427	211,114	

◆支出の部

(単位：円)

大区分	中 区 分	予算額	決算額	比較増減	摘 要 (積算内訳)
分担金		3,750,000	3,885,600	135,600	
	1. 日本知福協会会費支出	3,300,000	3,264,000	△ 36,000	事務局経由分
	2. 近畿地区知福協会会費支出	200,000	208,000	8,000	@2,000×98
	3. 府市施設協議会分担金支出	250,000	413,600	163,600	府施設協・市施連協
事務局費		7,212,160	7,125,600	△ 86,560	
	1. 職員雇用費	2,300,000	2,300,000	0	事務局職員
	2. 役務費	300,000	285,373	△ 14,627	郵送料、振込手数料、電話代
	3. 需用費	500,000	554,722	54,722	事務用品、印刷代、ホームページ作成費等
	4. 備品費	100,000	78,479	△ 21,521	パソコン購入 70,840円 他
	5. 旅費	800,000	392,160	△ 407,840	部会協議会、関係団体等会議出席、事務局等旅費
	6. 会議費	200,000	56,500	△ 143,500	役員会会場費等
	7. 慶弔費	50,000	10,000	△ 40,000	
	8. 雑費	100,000	39,530	△ 60,470	支援機構会費・保険料他 (移転費用は2020年度へ)
	9. 賃借料	723,360	684,335	△ 39,025	事務所賃借料11ヶ月分 コピー機17,280/月×12月
	10. 業務委託費	388,800	392,400		弁護士顧問料
	11. 特別事業費	1,750,000	2,332,101	582,101	50周年記念誌発行費用 増刷400,000円
部会活動費		2,940,000	2,391,121	△ 548,879	
	1. 広報部会活動費	500,000	7,610	△ 492,390	「知福協だより」等
	2. 行事・文化部会活動費	2,440,000	2,383,511	△ 56,489	クラシックコンサート・幼児のつどい・ミニコンサート・風船バレー
委員会費		1,040,000	198,190	△ 841,810	
	1. 政策委員会費	50,000	38,710	△ 11,290	
	2. 研修委員会費	900,000	152,640	△ 747,360	
	3. 人権・倫理委員会費	50,000	6,840	△ 43,160	
	4. 支援スタッフ委員会	40,000	0	△ 40,000	
種別部会費		400,000	198,002	△ 201,998	
	1. 児童発達支援部会費	80,000	0	△ 80,000	
	2. 障害者支援施設部会費	50,000	34,624	△ 15,376	
	3. 日中活動支援部会費	80,000	54,530	△ 25,470	
	4. 生産活動・就労支援部会費	50,000	45,648	△ 4,352	
	5. 地域支援部会費	60,000	58,640	△ 1,360	
	6. 相談支援部会費	80,000	4,560	△ 75,440	
積立金支出		0	0	0	
	1. 事業振興基金積立金支出	0	0	0	
	2. 事業活動積立金	0	0	0	
予 備 費		5,407,153		△ 5,407,153	
支出合計		20,749,313	13,798,513	△ 6,950,800	

京都知的障害者福祉施設協議会 令和2・3年度役員体制

〈会 長〉 樋口 幸雄 [(福)京都ライフサポート協会]
 〈副会長〉 塩見 正人 [(福)福知山学園]
 中西 昌哉 [障がい者地域共生拠点イマジ]

〈地域連絡会〉

京都府連絡会代表

樋口 幸雄 [(福)京都ライフサポート協会]

京都市連絡会代表

中西 昌哉 [障がい者地域共生拠点イマジ]

〈特別委員会〉

政策委員会

委員長 樋口 幸雄 [(福)京都ライフサポート協会]

研修委員会

委員長 菊池ゆかり [居宅介護わくわく]

人権・倫理委員会

委員長 廣幡 顕一 [京北やまぐにの郷]

〈事業部会〉

行事・文化部会

部会長 濱田 康寛 [障害者支援施設みすなざ学園]

副部会長 竹内 竜也 [京都市ふしみ学園]

広報部会

部会長 西田 武志 [障害者支援施設 翼]

副部会長 森 亮 [光の家アクティブセンター]

〈児童発達支援部会〉

障害児入所支援、障害児通所支援

部会長 渋谷 千鶴 [(福)平安養育院]

副部会長 岩本 俊也 [桃山学園]

〈障害者支援施設部会〉

障害者支援施設

部会長 山代 浩史 [(福)南山城学園]

副部会長 土居 雅幸 [京都市洛西ふれあいの里更生園]

〈日中活動支援部会〉

生活介護、療養介護、自立訓練、地域活動支援センター

部会長 谷村 敏幸 [ぐんぐんハウス]

副部会長 森井 詳太 [乙訓ひまわり園]

〈生産活動・就労支援部会〉

就労継続支援B型、就労継続支援A型、就労移行支援

部会長 藤田 公智 [ワークセンター Halle!]

副部会長 野村 尊実 [(福)菊鈴会]

〈地域支援部会〉

行動生活援助、自立訓練(宿泊型)、福祉ホーム、

居宅介護、重度訪問介護、行動援護

部会長 森 亮 [修光学園ディアコニアセンター]

副部会長 垣村 知哉 [あしたーる風和里]

〈相談支援部会〉

相談支援事業、就業・生活支援センター、

重度障害者包括支援

部会長 須河 浩一 [相談支援センターいづみ]

副部会長 守本 明 [天ヶ瀬さばうの家]

〈支援スタッフ委員会〉

委員長 高瀬 謙一

[しょうがい者生活支援センターあんじゅ]

〈監 事〉

平田 捷郎 [障害者支援施設あんびしゃ]

大橋 良輝 [洛西愛育園]

〈顧 問〉

矢野 隆弘 [(福)松花苑]

〈事務局〉

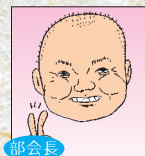
樋口 杏 [(福)京都ライフサポート協会]

「目には口ほどにものを用い」といふ言葉もあるように、その人の魅力が目には宿っていると考えると、その人の本質が強調され、見えやすくなったことで、魅力的に見えることと捉えることができるのかもしれません。そのように考えると世の中は随分魅力的な人が溢れており、素晴らしい世界を生きている様に思えてきます。

依然として、油断できない状況の中で、張り詰めた感があること、視点をポジティブなものにするところで、この先しばらく続くであろう、コロナ禍の世界を、乗り切ることが出来ればと思います。

(あまだ翠光園 岸見健二)

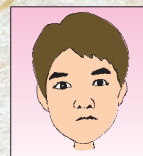
令和2年度 京都知福協広報部会 部員紹介



西田 武志
障害者支援施設 翼



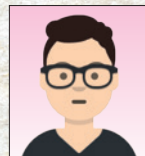
森 亮
光の家アクティブセンター



今西 重人
あけぼの学園りけい寮



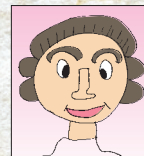
杉森 健人
あしたーる工房



岸見 健二
あまだ翠光園



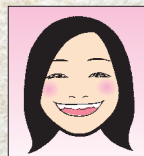
田中 秀興
宇治川福祉の園



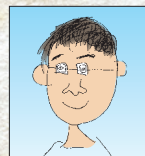
西 和也
きぎょうの杜



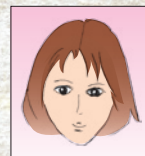
中西 智泰
京都市大原野の杜



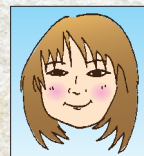
綾木 冴子
大照学園



三好 真弘
テンドーハウス



八木 真希子
はなのき通所



天野 真弓
ひなとり学園



山本 紗智代
修光学園

新規加入事業所紹介

一般社団法人あゆみ会

あゆみ会：移動販売車

あゆみ工房

管理者●小関 裕美

所在地●南丹市美山町安掛上ノ山17

グループホーム 一歩

管理者●竹内 晶

所在地●南丹市美山町三埜後田4-1



あゆみ会は、「親亡き後、この地域で安心して暮らせる拠点を作ろう」と親や家族の有志が集まり立ち上げた法人で、「グループホーム一歩」から事業が始まりました。今では、グループホームも三歩まで作り、また日中活動施設として多機能型施設あゆみ工房(就労継続支援B型と生活介護)を運営しています。

グループホームでは、地域で普通に暮らせる環境づくりを基本に地域と共に育ち合えればと考え交流行事なども取り組んでいます。あゆみ工房では、下請作業として事務用品の組み立てや、さをり織、パンの製造販売、農作業の下請けなど色々な仕事に取り組んでいました。生活介護でも、レクリエーションや創作、買い物や健康づくりの取り組みをしています。ただこの間はコロナ禍の中で行事や地域交流も中止となったり、あゆみ工房でも仕事がなくなったり厳しい状況になっています。創意工夫で出来ることを頑張るしかありません。しかし、幸いなことに地域の方たちが温かく応援をしてくださって、大変励みとなっています。これからも法人理念である「共に生き、共に育つ社会の実現」に向け頑張っていきたいと思っています。



編集後記を執筆するにあたり、コロナウィルスの問題は避けようかとも思いましたが、この話題を避けて通るよりも、視点をポジティブなものにしてみるとうだるうと思いましたが、私自身そのような視点を持ったことは無いので、書きながら考えてみようと思います。ここまで世界中に情報がいきわたる社会で、これほど世界が一つの話題を共有することがかつてあったでしょうか。ネガティブな情報であるため、そのことは決して喜ばしいことではありませんし、現状では発症の地とされるアジア出身の人々に対する差別も報告されていますが、今後このウィルスを克服した後は、世界中の人々が一つのことに喜び合う素晴らしい光景を目にすることが出来るかもしれません。政治家でもない限り、このような楽観的な空想をしてみても良いのではないのでしょうか。ここまで大きな空想でなくても、身近なところから目を向けてみると、今は外出時にマスクを常に付けている人が大半だと思います。マスク越しにある人を見たとき、その人が魅力的に見えたことはありませんが、このことは、容姿におけるマイナスイメージが、マスクで覆われることで見えなくなることとの副産物ではなく、「目は口ほどにものをいう」といふ言葉もあるように、その人の魅力が目には宿っていると考えると、その人の本質が強調され、見えやすくなったことで、魅力的に見えることと捉えることができるのかもしれません。そのように考えると世の中は随分魅力的な人が溢れており、素晴らしい世界を生きている様に思えてきます。

依然として、油断できない状況の中で、張り詰めた感があること、視点をポジティブなものにするところで、この先しばらく続くであろう、コロナ禍の世界を、乗り切ることが出来ればと思います。

(あまだ翠光園 岸見健二)

編集後記

早いもので、もう師走となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、充実した一年を過ごすことは難しい年になったのではないのでしょうか。いまだ実態の分からないウィルスと対峙する日々、疲れも溜まっていることと思います。気が知れた相手との会話やテレビの中でも、コロナウィルスが、話題の中心にどっかりと腰を据え、しばらく動いてくれそうにありません。